

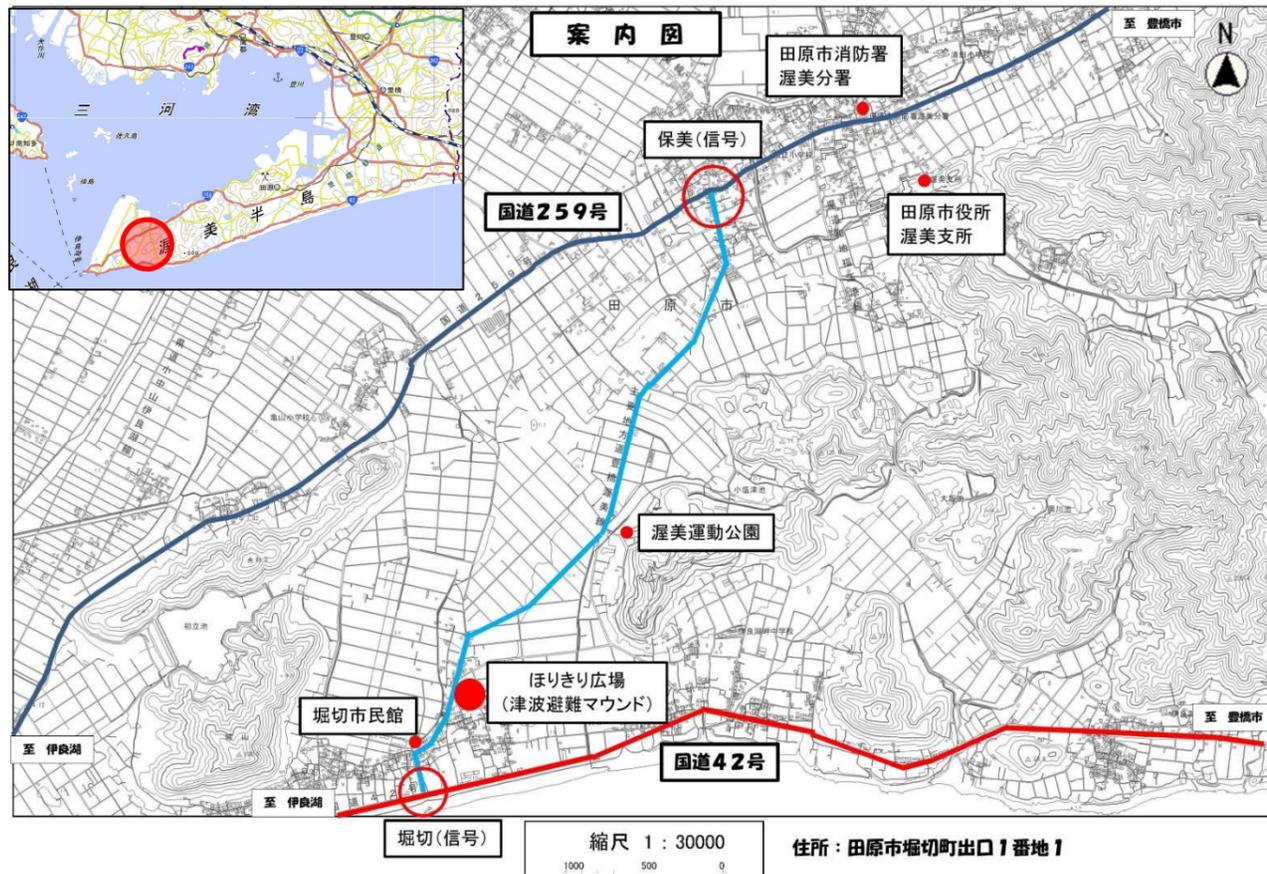
# ほりきり広場 施設図

平面図

- 施設案内
- 🅑 駐車場
  - 🚻 トイレ



案内図



# ほりきり広場

平成30年10月1日完成



田原市防災局防災対策課

# ほりきり広場施設整備概要

## 1 目的

南海トラフ地震が発生した際、津波到達までに時間がなく浸水想定区域外までの避難が困難で、付近に高台等のない避難困難地域での津波避難対策として、津波避難対策緊急事業計画を策定し、国の社会資本整備総合交付金を活用し、旧堀切小学校跡地に一時避難場所となる津波避難マウンドを整備。

普段は、地域の憩いの場となる親しめる公園広場として活用。

名称である「ほりきり広場」については、堀切地区コミュニティ協議会が小中学生を含めて地域の住民から愛称募集したもの。「親しみやすく、地域の住民が利用しやすい施設」をイメージし、堀切地区コミュニティ協議会で決定したものを名称として採用。

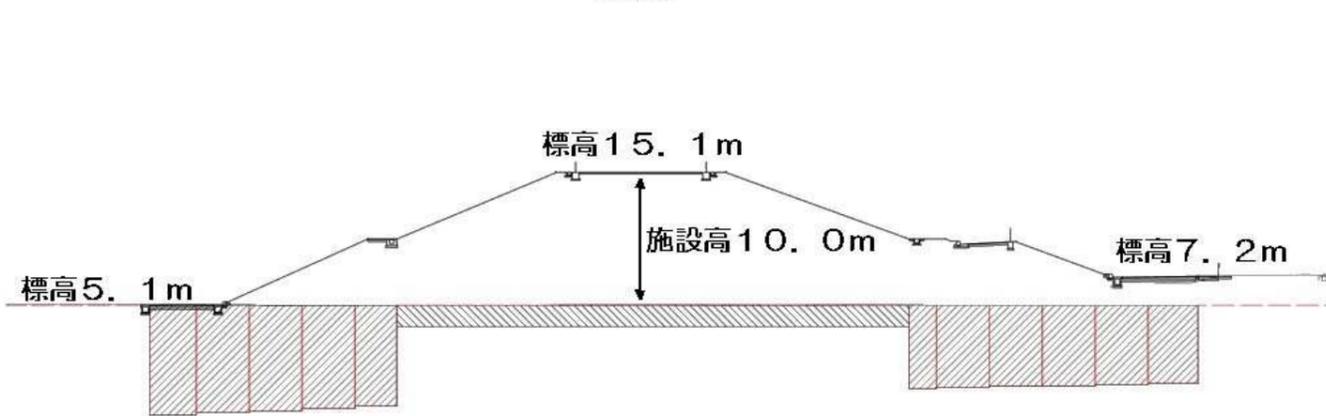
## 2 名称 ほりきり広場

## 3 所在地 田原市堀切町出口1番地1

## 4 整備事業名 堀切地区津波避難マウンド整備

- 5 施設概要 津波避難マウンド <避難対象人数：475人>  
 構造形式：セメント改良土盛 37,000m<sup>3</sup>、勾配 1:2  
 傾斜路勾配 8%  
 規模：高さ 10m、避難場所面積 850m<sup>2</sup> (天端部)  
 敷地面積：約 16,200m<sup>2</sup> (マウンド部分約 7,800m<sup>2</sup>)  
 付帯設備：災害用トイレ (天端部) 8基、収納ベンチ (天端部) 2基  
 太陽光照明灯 11基、公衆用トイレ  
 総事業費：約 7億 8千万円

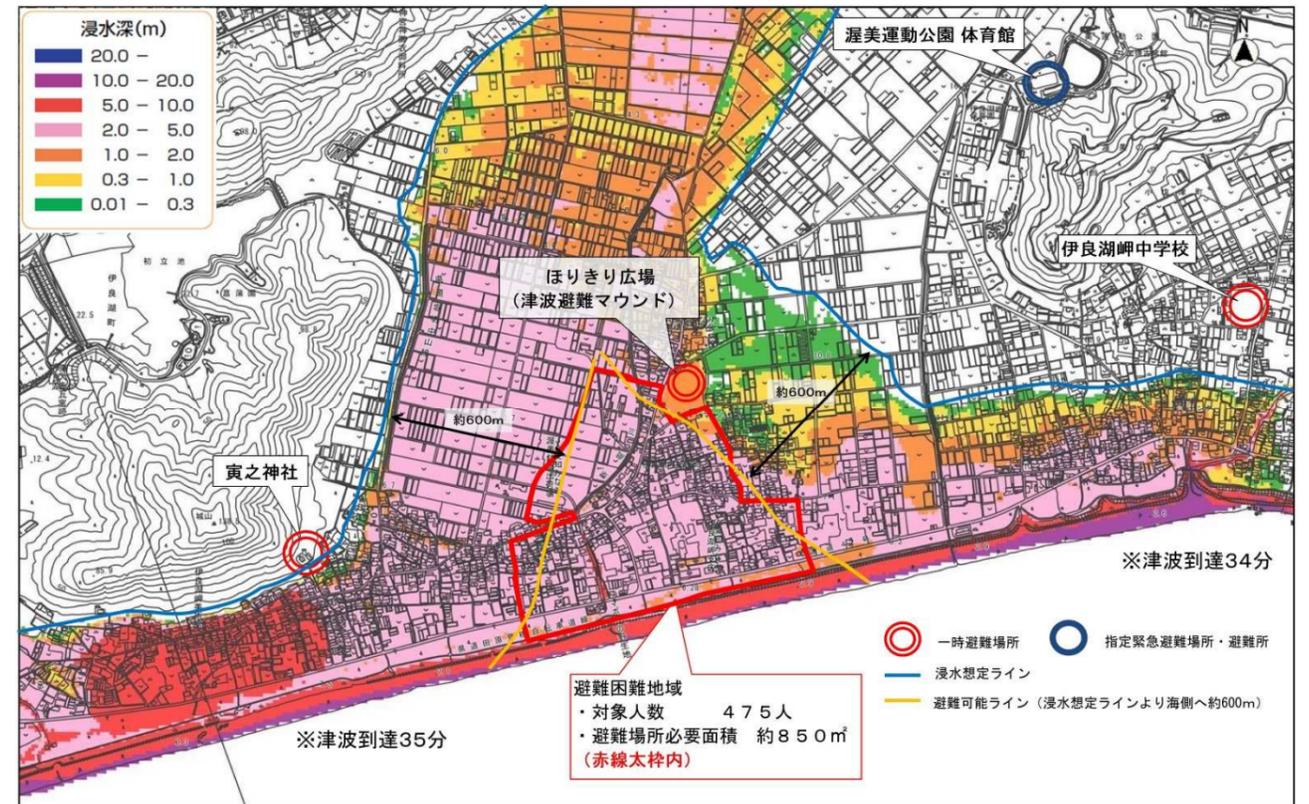
断面図



# 避難困難区域と施設高

## ○津波避難困難地域の検討

津波浸水シミュレーション結果等に基づき、津波の到達予想時間を35分と設定する。避難者が避難対象地域外へ脱出する際の目標地点 (一時避難場所) は、原則、避難対象地域の外側とした。また、移動は徒歩なので速度は要支援者等も考慮し 0.4m/秒とした。設定条件より、避難準備に10分必要と考え津波到達時間35分から準備時間10分を引いた25分で約600m移動が可能とした。この考えから下の図のように避難困難地域が浮かび上がった。



## ○マウンドの天端高算定

マウンドの天端高算定の考え方は、基準水位をもとに天端高を算定するが家屋などの漂流物については考慮されていない。堀切地区のようにマウンドの海側に住宅地域が存在する場合には、家屋等が漂流物となって避難マウンドに来襲する可能性があるため、避難した住民等が漂流物に対する恐怖感を抱かずに安心・安全を認識できる高さを確保する必要がある。堀切地区の基準水位 4.0m (水位 T.P.9.1m) に、漂流物の家屋が倒壊して当該施設に及ぼす影響 (高さ 5.0m) および余裕高 1.0mを考慮して、T.P.15.1m と設定した。

